飯田市認知症カフェ運営事業補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 この事業は、認知症又はその疑いがある高齢者及び若年者（以下「認知症高齢者等」という。）が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症の人を支えるつながりを支援し、介護負担の軽減を目的に認知症カフェを運営する者に対し、飯田市認知症カフェ運営事業補助金（以下「補助金」という。）を交付する。

2 この要綱は、補助金を交付することに対し、飯田市補助金等交付規則（昭和45年飯田市規則第31号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において「認知症カフェ」とは、認知症高齢者等及びその家族、地域住民、専門職等が気軽に集う場所であって、悩みや不安を語り合うことにより心身の負担が軽減されること及び地域住民の認知症に関する理解を深めることを目的とする活動拠点をいう。

(補助金の交付)

第3条 市長は、認知症カフェを運営する者に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

(補助対象事業)

第4条 補助金の交付の対象となる事業（以下「補助対象事業」という。）は、次の各号に掲げる要件を全て満たすものとする。ただし、補助対象事業に対して、国、他の地方公共団体又はこれらに準ずる団体の補助金の交付を受けているものを除く。

- (1) 市内で運営する認知症カフェであること。
- (2) 利用者が参加しやすい場所であって、10人以上が集える拠点を設けること。
- (3) 月に1回以上開催し、1回あたりの開催時間は2時間以上であること。ただし、やむを得ない事情により開催できない月を除く。
- (4) 認知症高齢者等及びその家族からの相談に対応できる運営スタッフ（医療介護における専門職、認知症キャラバン・メイト等）を毎回、1名以上配置すること。
- (5) 認知症高齢者等及びその家族、地域住民が気軽に集い、認知症に関わる情報交換や経験者の話を聞いたり、悩みや不安を語り合うことができる機会を提供すること。
- (6) 認知症カフェに参加する地域住民に対し、認知症高齢者等やその家族との交流やミニ学習会等により認知症高齢者等とその家族が孤立することがないように認知症に関する理解を深める機会を提供すること。
- (7) 行動・心理症状（BPSD）による危険行動等への対応ができるよう、必ずスタッフが会場に駐在する等の安全管理を行うこと。
- (8) 参加費は、飲食及び送迎にかかる費用のうち参加者負担を考慮した額とする。
- (9) 地域包括支援センター、介護サービス事業所、地域の関係機関と連携を図り、利用者へ適切な支援を行うこと。

(補助対象者)

第5条 補助金の交付の対象となる者（以下「補助対象者」という。）は次の各号のいずれにも該当する個人又は団体とする。

- (1) 市内に住所を有する者又は市内に所在する団体であること。
- (2) 継続的な運営実績があること又は継続的な運営が見込まれること。
- (3) 政治活動、宗教活動又は営利活動を目的としないこと。
- (4) 暴力団又は暴力団員の統制下にある団体でないこと。
- (5) 市税の滞納がないこと。

(補助対象経費)

第6条 補助金の交付の対象となる経費は、補助対象事業に要する経費のうち別表1に掲げるものとする。ただし、人件費については、当該事業の賃金以外に他の者からこの事業に係る給与を受けている者を除く。

(補助額)

第7条 補助金の額は、補助対象事業に要する経費のうち別表1に掲げる額とする。

2 前項の補助金の額は、一補助対象者につき年間24万円を上限とする。

(補助対象期間)

第8条 補助対象期間は、補助対象事業による補助金を初めて交付した年度から10年間とする。

(補助金交付の申請)

第9条 補助対象者は、飯田市認知症カフェ運営事業補助金交付申請書(様式第1号)に次に掲げる書類を添付し、市長へ提出するものとする。

- (1) 事業計画書及び経費見込書
- (2) 認知症カフェ事業従事職員名簿
- (3) その他市長が特に必要と認める書類

(実績報告)

第10条 補助対象者は、補助対象事業が終了したときは速やかに、飯田市認知症カフェ運営事業実績報告書(様式第2号)に次に掲げる書類を添付し、市長へ提出するものとする。

- (1) 事業報告書及び経費決算書
- (2) 経費の支払を証する書類の写し

(補助金交付の請求)

第11条 補助金交付の請求は、飯田市認知症カフェ運営事業補助金交付請求書(様式第3号)を市長に提出することにより行うものとする。

2 前項の規定にかかわらず、補助金の概算払いを受けようとするときは、飯田市認知症カフェ運営事業補助金概算払請求書(様式第4号)に、次に掲げる書類を添えて、市長に提出するものとする。

- (1) 補助金交付の決定書(規則第6条に規定する決定書をいう。)の写し
- (2) 経費決算見込書

(補則)

第12条 この要綱に定めるもののほか、補助金の交付に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

別表1（第6条及び第7条関係）

補助対象経費	内 容	上限額 (1回につき)	補助金額 (1回につき)
人件費	ボランティアとして事業に直接従事する者に支払われる賃金 ※賃金の額は各団体で設定する。	上限 5,000 円	10,000 円以下
報償費	外部講師に対する謝金（交通費含む。）	費用の 1/2 上限 5,000 円	
需用費	事務用品等の消耗品費、チラシ等の印刷製本費、認知症カフェにおいて提供する茶菓子等の食糧費（酒類、弁当代等を除く。）		
役務費	切手代、はがき代、手数料、保険料等		
使用料及び賃借料	会場使用料、機材の借上料 ※水道光熱費は対象外		

※対象経費に消費税は含まない。

様式第1号（第7条関係）

飯田市認知症カフェ運営事業補助金交付申請書

年 月 日

飯田市長

申請者 団体名 _____
所在地 _____
代表者氏名 _____
電話番号 _____

年度において下記のとおり飯田市認知症カフェ運営事業を実施したいので、飯田市認知症カフェ運営事業補助金交付要綱第7条の規定により申請します。

なお、この申請にかかる補助対象者の資格確認のため、市税等の納付状況について、飯田市が必要な事項を確認することに同意します。

記

- 1 事業の目的

- 2 事業の内容 別添事業計画書のとおり

- 3 補助金交付申請額 _____ 円

（添付書類）

- 1 補助対象事業に係る事業計画書
- 2 補助対象事業に係る経費見込書
- 3 補助対象事業に直接従事する者の名簿

様式第2号（第8条関係）

飯田市認知症カフェ運営事業実績報告書

年 月 日

飯田市長

申請者 団体名 _____
所在地 _____
代表者氏名 _____
電話番号 _____

年 月 日付 飯長第 号で補助金交付決定のあった 年度飯田市認知症カフェ運営事業を実施しましたので、飯田市認知症カフェ運営事業補助金交付要綱第8条の規定により、下記のとおり報告します。

1 事業の目的

2 事業の内容 別添事業報告書のとおり

（添付書類）

- 1 補助対象事業に係る事業報告書
- 2 補助対象事業に係る経費決算書
- 3 支払を証する書類の写し（振込通知、領収書等）

様式第3号（第9条関係）

飯田市認知症カフェ運営事業補助金交付請求書

年 月 日

飯田市長

申請者 団体名 _____
所在地 _____
代表者氏名 _____
電話番号 _____

年 月 日付 飯長第 号で補助金の額の確定のあった 年度飯田市認知症カフェ運営事業の補助金を、飯田市認知症カフェ運営事業補助金交付要綱第9条の規定により、請求します。

記

- 1 補助金交付確定額 _____ 円
2 概算払を受けた額 _____ 円
3 今回請求額 _____ 円

振込口座

金融機関名		支店名	店
口座種類	普通・当座	口座番号	
ふりがな			
口座名			

様式第4号（第9条関係）

飯田市認知症カフェ運営事業補助金概算払請求書

年 月 日

飯田市長

申請者 団体名 _____
所在地 _____
代表者氏名 _____
電話番号 _____

年 月 日付 飯長第 号で補助金交付決定のあった 年度飯田市認知症カフェ運営事業の補助金を、飯田市認知症カフェ運営事業補助金交付要綱第9条第2項の規定により、請求します。

記

- 1 補助金交付決定額 _____ 円
2 概算払請求額 _____ 円

振込口座

金融機関名		支店名	店
口座種類	普通・当座	口座番号	
ふりがな			
口座名			

添付書類

- 1 補助金交付決定書の写し
2 経費決算見込書